



大島町産アシタバの放射性物質検出について対策を都に申し入れる日本共産党都議団。19日、都庁

都に調査など要請

大島町産アシタバセシウム検出

党都議団

東京都大島町特産のアシタバから国の基準値を上回る放射性セシウムが検出された問題で、日本共産党都議団は19日、土壌調査と原因究明などを行うよう石原慎太郎知事あてに申し入れました。

東京都大島町特産の乾燥アシタバ5検体を検査し、大島町の2検体から国の基準値(1キログラムあたり100ベクレル)を上回る最高280ベクレルの放射性セシウムを検出。さらに11日の検査でも大島町産の生葉6検体中1検体で122ベクレルと基準値を上回りま

した。大島町はアシタバの出荷・販売を自粛し、町広報号外を町民に配布し、今後関係機関と連携し、島内産農産物の放射性物質検査を実施するとしています。都議団は申し入れで、アシタバ生産者や農業・観光関連の業者など町の広い範囲で経済活動への影響が出て、町民の不安が高まっていると指摘。①原因究明のための土壌調査や検査、必要な対策

を行い、早期に自粛解除できるようにする②出荷停止に伴う東京電力の損害賠償へ、都も積極的に働きかける③ほかの農林水産物の検査体制を早急に確立する―ことを求めました。都産業労働局の岩田哲担当部長は「アシタバの検査は重点的に取り組む。できるだけ早く出荷自粛を解除できるようにしたい」と答えました。